



Shock of Dalí ショック・オブ・ダリ –サルバドール・ダリと日本の前衛– 2021.4.24(土)-6.27(日)

サルバドール・ダリ(1904-1989)は、スペイン、カタルーニャ地方フィゲラスに生まれ、1920年代末にパリのシュルレアリスム運動に参加、写実的な描写技術を駆使してイメージを自在に扱い、シュルレアリスムの造形芸術に新たな局面を開きます。見る者に強烈な印象を与えるダリの絵画は、やがてヨーロッパのみならず世界的に知られるようになります。

日本では1930年代にシュルレアリスムの美術が次第に知られるなかで、ダリの作品は日本の若い前衛画家たちに強い衝撃を与えました。その衝撃の影響は、30年代後半の一群の洋画家たちの作品に急速に現れ、そこには単なる模倣ではないそれぞれの画家の受容のあり方を見とることができます。

本展では当館所蔵のダリ作品を中心に、その特異で魅惑的な絵画世界を紹介するとともに、ダリの衝撃を最初に受け、それを自らの創作に生かした日本の画家たちの表現を検証し、日本における最初期のダリの影響の様相、日本のシュルレアリスム受容の一側面を明らかにしたいと考えます。



瀧口修造『ダリ』1939年 アトリエ社 個人蔵
※日本で最初のダリ画集

展覧会構成と見どころ

第1部 サルバドール・ダリの世界

見どころ ▶ アジア最大級の
ダリコレクションを一堂に展示！

第1部の狙いはまず、ダリを知ること。当館所蔵作品のダリの初期から晩年までの油彩、水彩、素描、版画などをご紹介します。展覧会のコンセプトである、日本におけるダリ受容を考えるための導入として、たくさんのダリ作品を鑑賞することができます、本展覧会におけるハイライトのひとつです。



サルバドール・ダリ《ピキニの3つのスフィンクス》1947年
油彩・キャンバス 公益財団法人諸橋近代美術館蔵
© Salvador Dalí, Fundacio Gala-Salvador Dalí, JASPAR
Tokyo, 2020 E3972

第2部 ダリは日本にどう知られたか？

見どころ ▶ ダリ受容の足跡を貴重資料で読み解く！

日本でも偉大な画家として知られているダリ。ダリの存在は同時代の人々にどのように認知され、広がっていったのでしょうか？日本でのダリ受容を示す1920～50年代の国内外の書籍などの資料を展示し、特異ともいえる日本のダリ受容をたどります。



『タイム』1936年12月14日号
公益財団法人諸橋近代美術館蔵

第3部 日本の前衛

— 影響の広がりとなつた新たな絵画言語の探求

見どころ ▶ 総勢25人の前衛画家の作品から
ダリの影響を探る！

ダリに触発された1930～50年代の日本の画家の作品を紹介します。ダリが日本の前衛画家たちに与えた影響は、常に単純に特定できるものではなく、その全体像や範囲を捉えるのは困難です。そこで、第3部ではダリの影響が急拡大した1937年頃から戦後に至るまでの多くの作例を紹介することで、ダリが日本の絵画に何をもたらしたのかを考えます。



福沢一郎《人》1936年
油彩・キャンバス
東京国立近代美術館蔵



浜田浜雄《タイム・キーパー》1938年
油彩・キャンバス 米沢市上杉博物館蔵

展示予定作家一覧 ※五十音順(サルバドール・ダリ除く)

ダリ、そして24名の日本の前衛画家たち作品からダリの影響を探る!

サルバドール・ダリ 1904-1989

| | | | | | |
|-------|-----------|------------|-----------|------|-----------|
| 鬘光 | 1907-1946 | 杉全直 | 1914-1994 | 古沢岩美 | 1912-2000 |
| 浅原清隆 | 1915-1945 | 高山良策 | 1917-1982 | 森堯之 | 1915-1944 |
| 池田龍雄 | 1928- | 難波架空像(香久三) | 1911-1996 | 矢崎博信 | 1914-1944 |
| 石井新三郎 | 1915-1996 | 浜田浜雄 | 1915-1994 | 山下菊二 | 1919-1986 |
| 小牧源太郎 | 1906-1989 | 早瀬龍江 | 1905-1991 | 山本昌尚 | 1915-1979 |
| 斎藤長三 | 1910-1994 | 尾藤豊 | 1926-1998 | 吉井忠 | 1908-1999 |
| 島津純一 | 1907-1989 | 福沢一郎 | 1898-1992 | 米倉壽仁 | 1905-1994 |
| 白木正一 | 1912-1995 | 藤田鶴夫 | 1902-1957 | 渡辺武 | 1916-1945 |

開催概要

| | | |
|-----|--|--|
| 展覧会 | Shock of Dalí ショック・オブ・ダリ - サルバドール・ダリと日本の前衛 - | |
| 主催 | 公益財団法人諸橋近代美術館 | |
| 会期 | 2021年4月24日(土)～6月27日(日) (65日間) 会期中無休 | |
| 会場 | 諸橋近代美術館 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番23 | |
| 時間 | 9時30分～17時00分 ※入館は閉館時刻の30分前まで | |
| 観覧料 | 一般 1,300円(1,000円) 高校・大学生 500円(400円) | |

|| 中学生以下無料 ||

※()は20名以上の団体料金。他、教育施設対象の観覧料免除制度あり(要事前申込)
※感染症対策に伴い団体受入れを見合せている場合がございます。事前にお問合せ下さい。
※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳のご提示で所有者と付添い者1名は無料。

※諸事情により会期・日程・内容が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

広報詳細

□ 広報用画像のご提供

画像はデータにて無料でご提供いたします。

ご希望の際は下記の事項をご記入の上、メールにて当館までご連絡下さい。折り返しご連絡致します。お手数おかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

※サルバドール・ダリ作品は著作権料が発生します。掲載をご希望される場合は別途ご相談ください。

(1) 使用希望作品番号 (2) 会社名 (3) 担当者名 (4) 連絡先電話番号 (5) 掲載媒体名・番組名 (6) 発行日・放送日 (7) 発行部数

担当 / 公益財団法人諸橋近代美術館 担当 / 久納(くのう) e-mail: s-kunou@dali.jp

NO.1



浜田浜雄《タイム・キーパー》
1938年 油彩・キャンバス
米沢市上杉博物館蔵

NO.2



浅原清隆《多感な地上》
1939年 油彩・キャンバス
東京国立近代美術館蔵

NO.3



米倉壽仁
《ヨーロッパの危機(旧題「世界の危機」)》
1936年 油彩・キャンバス
山梨県立美術館蔵

NO.4



山下菊二
《サルバドール・ダリの模写A》
水彩、インク、コンテ・紙
徳島県立近代美術館蔵
(4/24-5/25展示)

NO.5



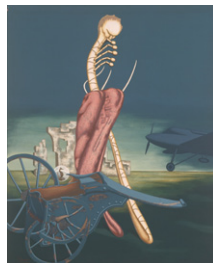
福沢一郎《人》
1936年 油彩・キャンバス
東京国立近代美術館蔵

NO.6



古沢岩美《女幻》
1947年 油彩・キャンバス
板橋区立美術館蔵

NO.7



小牧源太郎《民族病理学(折り)》
1937年 油彩・キャンバス
京都市美術館蔵

NO.8



諸橋近代美術館 外観

□ メディア掲載における読者・視聴者プレゼント用招待券のご提供

情報をご掲載いただ来ました媒体各社様へ招待券(5組10名様)をご提供します。ご希望のご担当者様はメールにて当館までご連絡下さい。



取材や記事掲載にご協力賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ: 公益財団法人諸橋近代美術館 広報担当

e-mail: info@dali.jp tel:0241-37-1088 fax:0241-32-3332

〒969-2701 福島県北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番23

公式ホームページ <https://dali.jp>



諸橋近代美術館